

医療ルネサンス No.8200

シリーズ ●●● 薬

不足の裏側

1/7

25%超が通常出荷できず

咳止め薬や痰を切る薬など、身近な薬の不足が続いている。がんや難病の治療薬など、海外で使える薬が日本にはない「ドラッグロス」も深刻化している。世界でも数少ない新薬開発力がある医療先進国・日本で、何が起きているのか。

発熱して、かかりつけ医にインフルエンザと診断された。小児用インフルエンザ治療薬と痰を切る薬、解熱剤などの4種類が処方され、近所の薬局に処方箋を持参した。

すると、そのうち3種類について「在庫がなく、いつ入荷するか分からない」という。薬剤師が、同じような効果で在庫がある薬に変更できるか、医師に電話で確認し、粉薬をシロップ剤にするなど別の薬で対応することになった。

際も、痰を切る薬や喉の痛みを抑える薬などの在庫がなかった。男性は「薬不足は一時的なことだと思っていた。まさかこんなに続くとは」と顔を曇らせる。こうした事態は、国会でも取り上げられた。

「うちの娘も先日、咳がすぐ出ていたが、やはり子ども用の咳止めがない」昨年11月の衆院厚生労働委員会。衆院議員の伊佐進一さん（公明）が、薬不足への政府の対応を質問した際、実体験を例に挙げた。

小学3年の次女が風邪をひき、自宅のある大阪府内のクリニックを受診。咳止め薬などを処方されたが、薬局に薬がない。妻が処方箋を手に何軒か回り、やっと大人用の薬があった薬局で、細かく砕いて子ども用に調査してくれたという。日本製薬団体連合会の調査では、メーカーが全ての注文中に届けられない「限定出荷」か「供給停止」となった薬は、1月末時点で4629品目に達した。処方薬全体の25・9%で、毎月調査を始めた昨年4月以降で最も高い水準となった。こうした薬不足は、ジェネリック医薬品（後発薬）メーカーの不祥事が相次いだ3年ほど前から始まった。「不足はコロナ禍で一時的に深刻化したわけでも、企業に増産を頼めば解決するわけでもない。産業の構造的問題だ。行政、企業、国民、全ての関係者を挙げて、この事態を何とかしなければならぬ」。伊佐さんは強調する。



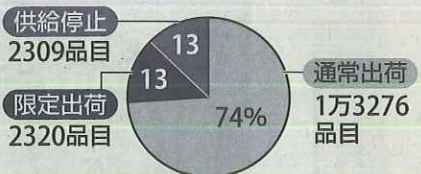
次男（右）のお薬手帳。医師の当初の処方とは別の薬名が並ぶ（画像は一部修整しています）

「なんでこんなに薬が手に入らないのか……」東京都内の会社員男性（48）は、そう訝しむ。昨年秋頃や年末年始に、子どもたちが風邪をひいた

際、実体験を例に挙げた。

昨年秋頃や年末年始に、子どもたちが風邪をひいた

●薬は「4分の1」が通常通り出荷できていない ●医薬品の出荷状況（2024年1月末時点）



日本製薬団体連合会の調査を基に作成

くらし 家庭

ご意見・情報を 〒100-8055 読売新聞東京本社医療部 FAX03(3217)1960 iryou@yomiuri.comへ

過去のレシピ [よみうりグルメ部](#)

きょうのひと皿 ブフ・ブルギニョン(牛肉の赤ワイン煮込み)

時間の目安 100分/熱量 483kcal/塩分 0.9g (1人分)



＊材料 2人分
牛肉（煮込み用）300g／赤ワイン200cc／ベーコン1枚／タマネギ½個／ニンジン¼本／セロリ¼本／ニンニク1かけ／タイム少々／ローリエ1枚／バター大さじ2／ジャガイモ1個／芽キャベツ4個

＊作り方
1.牛肉は5cm四方に切り、塩、コショウ各少々をふる。
2.ベーコン、タマネギ、ニンジ

ン、セロリは細かく切り、オリーブ油大さじ1を熱したフライパンでいためる。
3.（1）を加えてさらにいため、赤ワイン、水400cc、つぶしたニンニク、タイム、ローリエ、バターを入れて弱火で1時間煮込む。塩、コショウ各少々で味を調える。
4.ジャガイモは皮をむいて4等分にし、ゆでる。芽キャベツは根元に十字の切れ目を入れてゆでる。
5.皿に（3）を盛りつけ、（4）を添える。

赤堀博美

とくま、ま「起す時と断た、電 わら玉た腹、

医療ルネサンス No.8205

シリーズ ●●● 薬

不足の裏側

6/7

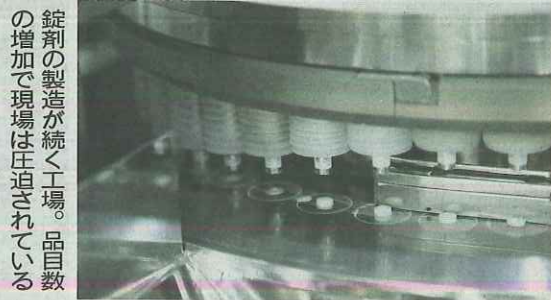
品目膨大 困難な適正化

「古い薬や同じような効き目の薬を整理して、不足する薬を増産できる体制を作りたいが、製造中止には高いハードルがある」。あるジェネリック医薬品（後発薬）メーカー幹部は打ち明ける。

日本の後発薬産業は、1社が多くの品目を少しずつ製造する「少量多品目生産」に陥っている。

製薬企業は、薬が保険適用された時に安定供給の責務を負うため、何十年も前の薬でも、自社の判断だけで製造をやめられず、供給し続けなければならない。それが地層のように重なり、後発薬は1万1000品目超に上る。生産現場を圧迫し、製造能力が限られる中でスケジュールが過密になるなどして、現在の薬不足を招いている。

実際、1980年代から重宝された胃潰瘍の薬は、



錠剤の製造が続く工場。品目数の増加で現場は圧迫されている

効果の高い別の薬に置き換わりが進み、ほとんど使われていないという。それでも、何品目もの製造が続く。こうした古い薬は薬価（公定価格）が低いことが多い。企業側には、品目整理で「作れば作るほど赤字」といった薬の製造をやめて、赤字を解消したい思惑もある。後発薬の3割程度が赤字だとする調査もある。

ただ、品目整理は、医療界の意見が大きな影響力をもっている。

供給停止の可否の判断は、最終的に厚生労働省が行うが、「医療現場の意見が重要」として、実質的には、日本医師会の中にある「疑義解釈委員会」に委ねられている。内科や外科、小児科などの学会の代表者が委員を務め、企業からの中止申請に対し、医療側の意見をまとめる。

だが、学会関係者は「たとえ古くてニーズが少ない薬でも、『慣れている患者がいるのでなくなると困る』という声があしでもあれば、それを無視して製造中止を認める意見は出しにくい」と明かす。学会の議論に参加する医師は「そもそも限られた情報しかないもので、判断がつかないことも多い」と実情を説明する。意見が報告されれば、厚

労省は、海外から原材料が入らないなど特別な事情がない限り、そのまま結論とする。議論の本身は公開されておらず、判断が適切なのか、不透明さが残る。

薬不足が長引く中、厚生省の有識者検討会は昨年6月にまとめた報告書で、「少量多品目生産という構造的課題を解消し、生産能力を高めるため、『品目数の適正化』が必要だ」と指摘した。同省で具体策の検討が続いている。

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会代表理事の武藤正樹さんは「薬の安定供給ができる体制を築くには、政府と企業、医療界が協力して膨れあがった品目の整理・統合を進めることが重要だ。過密な製造スケジュールに余裕が生まれ、品質管理も徹底できる。急な増産など有事にも対応できるように」と話している。

ご意見・情報を 〒100-8055 読売新聞東京本社医療部 FAX03(3217)1960 iryou@yomiuri.comへ

くらし 家庭

きょうのひと皿

ゴマと豆乳のうどん

時間の目安 15分/熱量 449kcal/塩分 1.5g (1人分)



*材料 2人分

冷凍うどん 2玉/細ネギ 2本/ジャガイモ 1個/成分無調整豆乳 2カップ/煮干しのだし汁 1カップ/すり白ゴマ 大さじ 4

*作り方

1. 細ネギは小口切りにする。
2. ジャガイモは厚さ1cmの半月切りにし、水で洗う。
3. すり白ゴマ、水大さじ4、片栗粉同1を混ぜる。
4. 鍋にだし汁、(2)を入れ火に

- かける。ジャガイモが軟らかくなったら、うどんを入れる。
5. 再び煮立ったら豆乳を加える。
6. (3)を入れて混ぜながら煮立ったら塩小さじ1/2を加える。器に盛り、ネギをのせる。

一緒に小エビ入り卵焼きはいかが。卵3個、だし汁大さじ3、塩少々、乾燥小エビ10gを混ぜ、卵焼き用フライパンにゴマ油少々をひいて卵焼きにする。たんぱく質とカルシウムをプラスしましょう。

藤井恵

過去のレシピ [よみうりグルメ部](#)

